

まちの先生講座 講座企画書

講師名 久下 宗光

講師紹介（自己紹介）

昭和 38 年裏千家入門、正教授、淡交会特別師範会員、

学校茶道連絡協議会、UIA 所属、市内中学校、公民館サークル

指導



講座名 茶道の世界 シリーズ⑥ 炉開きの茶事講座

PRポイント

炉開きや 左官老ひゆく 鬢の霜 芭蕉

古くは、亥の月の亥の日に、炉を開いたといわれています。塗りたての炉中に灰を入れ、気持ちを新たにしてい陽来復を待ちます。床に茶壺を荘り、茶人の正月を迎えます。

講座内容

【1コマ目】

寄付、待合にて汲み出し頂く。露地（腰掛待合）、亭主（蹲踞）迎え付け、客は蹲踞使い初入（初座）。掛物茶壺。初炭手前拝見。懐石（点心）主菓子頂き中立、露地（腰掛待合）銅鑼を聞く。

【2コマ目】

亭主（蹲踞）迎え付け。客は蹲踞使い後入（後座）。床の花拝見。濃茶。後炭手前・干菓子と薄茶を頂き、全員で茶席を楽しみます。

【3コマ目】

持参いただくもの

履き替え用白足袋 または白ソックス・ハンカチ

※可能な方は扇子

使用教材

掛物、花、花入、香合釜敷、霰松鶴紋田口釜、面青漆炉縁、五徳、炉用炭、釜道具一式、点心、主菓子、縁高、干菓子、干菓子器、濃茶と茶入、薄茶と棗、点前道具一式